

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	奈良県	市町村名	葛城市	地区名	葛城市山麓周辺地区	面積	268 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度				

目標							
大目標:産業基盤の形成と地域連携強化							
目標1 地場産業活性化の拠点を整備し、農業・商工業・観光等の活性化を創出する。							
目標2 交通機能の連携強化による都市・農村交流を促進する。							
目標3 周遊環境の整備による観光スポットを演出し、新たなまち発見機会を創出する。							

目標設定の根拠							
まちづくりの経緯及び現況							
<ul style="list-style-type: none"> 平成16年10月に旧新庄町と旧當麻町が合併し葛城市となった。平成17年度から本市の東部におけるJR大和新庄駅周辺地区において区画整理・道路事業など都市再生整備計画を策定し、取り組んだ。本計画については、新市建設計画において地域活性化事業として取り組むべき事業となっており、今回その地域活性化事業に資する事業として本計画に取り組む。 本市は、奈良県の西北部に位置し、万葉歌にも歌われる二上山をはじめとする大阪府との境界に存する山々の緑と田園風景が織り成す悠久ロマンの里であります。 官道第1号である竹内街道(歴史国道指定)や数多くの国宝を有する當麻寺、石光寺など多くの文化財があります。 豊かな自然と文化財が観光資源として多くの来訪者があります。 国道165号バイパス線、南阪奈道路が開通し交通量が年々増加している。また、主要道路である県道御所・香芝線においても、五條市、吉野方面への道路整備により前記道路と同様に交通量が増加している。 							
課題							
<ul style="list-style-type: none"> 南阪奈道路の奈良県側の玄関口に位置するが、奈良県への来訪者等の休憩、情報案内等利便性を向上させる施設がない。 豊かな自然、文化財等の観光資源の強化連携を図る必要がある。 農業の衰退を抑制し、良好な田園環境を保全していくことが求められている。 豊かな自然・歴史的環境に加え、恵まれた交通条件を生かした活気のある魅力的なまちづくりが求められている。 よって、観光客の誘致に努め、道の駅整備により農林商工業すべての産業を活性化し、賑わいを創出し、かつ県南部の玄関口でもある本地域から情報を発信していく必要がある。 							
将来ビジョン(中長期)							
<ul style="list-style-type: none"> 奈良県の西の玄関口となる南阪奈道路と主要幹線道路県道御所・香芝線の交差点付近に休養、交流、情報発信、研修等の機能を持つ道の駅を整備し、農業・商工業・観光を含む産業の活性化と都市と農村の交流を促し、魅力あるまちづくりを推進する。 〔位置づけ〕 本市総合計画では「文化・観光拠点」「広域交流軸と都市骨格軸の交差点」となっており、また「花と文化財の散策エリア」「ファームリゾートゾーン」などが交わる地域に位置する。本市都市計画マスタープランにおいても、南阪奈道路葛城インターチェンジを活かした土地利用の誘導に努める地域と位置づけられている。また、他の上位計画においても、中心的な要となる位置に、地域産業・交流の拠点施設整備を図る。 							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
道の駅利用者数	人/日	市域における道の駅利用者数 (うち新規道の駅利用者数)	拠点となる道の駅への来訪者増による地域活性化と交流の促進	910 (0)	H22	3,000 (2,000)	H27
主要観光施設の観光客数	人/年	観光客数	拠点(道の駅)や周遊環境等整備による魅力の増	613,000	H21	650,000	H27